

広島 YWCA 使命

- ①憲法の謳う恒久平和実現のため、
第九条の非武装・不戦の誓いを広げる。
 - ②被爆の実相を継承し、ヒロシマの声を発信する。
- 2016年度広島 YWCA 運動の課題
- ①憲法9条を守るための活動をする。
 - ②原子力発電を否定し、ライフスタイルを見直す。
 - ③敗戦・被爆 70年を過ぎ、被爆証言を若い世代に届ける。

発行所：一般財団法人 広島 YWCA 〒732-0053 広島市東区若草町 6-7 広島主城教会気付 TEL/FAX (082) 258-4878

「助産師・益田小蛸さんの生き方に学ぶ」を聞いて

今田 洋子 (広島 YWCA 平和活動部会会員)

日時：2016年5月15日(日) 14:00 ~ 16:00

会場：日本キリスト教団広島観音町教会

5月15日、日本キリスト教団観音町教会において、広島 YWCA 主催による、表題の講演会が開かれた。会場は90名を越える多勢の方々で埋まり、用意した資料が足りず、教会で増刷りをしてもらうほど、熱く質問や感想がのべられた。

講師を務められた小蛸さんの五男夫妻の紀志雄さん、明美さんは、遠路、松山市よりお越しいただいた。広島平和記念資料館に寄贈されているお産道具を前に、助産の仕事に生きた女性・益田小蛸、やさしい母・益田小蛸のことを話して下さった。

「なぜ、福島町に住まれたのか？」という質問に、明美さんは小蛸さんの葬送に際し、牧師から福島町のマザー・テレサであったといわれた事が強く耳に残っていると話された。無医地区であった当時の福島町はどのような街だったのか、今の福島町からは、想像できない街の歴史を感じる。

私達の周囲にはもともとと知らなければならぬ『広島』がたくさんある。

会場から「セツルメント*があつたのではないか？」の質問も出たが、講師から「オルガンがひけるから、保母として、すなおな心で福島町へ出かけたようだ」と伝えられた。

現在、高齢者のデイサービスや保育所など、多くの事業が行われている広島キリスト教社会館の設立にも尽力されている。

講師の兄、益田遥さんが「紀志雄は『いつも見送ってくれるやさしい母だった。』と言ったが、私には厳しかった。見送ってはくれなかった。」と話され、どっと笑い声が会場を包み、小蛸さんの子育ての一面が伝わってきて、暖かい雰囲気になった。

参加者の広島市の助産師会員が会報を手に、戦後の一時期、広島市に助産師会が存在しなかったことは、原爆の影響が大きかった事、県の名簿に助産師一号に旧姓の小蛸さん載せた事を報告された。七十一年前の焼け野原となった広島街、戦後の街で

産まれた命、産まれながらも生きられなかった命、産まれることのできなかった命、様々な生命を厳しい環境の中で助産し、見守り続け、生涯を生きた人である。一本芯の通った生き方に、女性として、人間として大いなる尊敬の念をもつ私達であった。

寄贈された平和記念資料館では資料に次のような説明文をつけている。

『助産師の益田小蛸さん(当時40才)は往診途中、爆心地から1.9kmの福島町で己斐橋を渡っている時に被爆。服が燃えあがつたため川に飛び込んだ。両腕に大やけどを負っていたが、暗くなるまで人が人を救援し続けた。めまいがして土手で倒れていると18才の初産の女性が産気づいているとの知らせを受け、やけどの両腕で赤ちゃんを取り上げた。取り上げた後、益田さんは気を失った。一中略軍医から両腕切断の診断を受けたが、この腕があれば、また赤ちゃんを取り上げることが出来る」と切断を断固拒否。一略80才近くまで現役で助産師を続けた』

セツルメント*：貧しい人が多く住む区域に定住し、住民と親しく触れ合つてその生活の向上に努める社会運動。また、そのための宿泊所・授産所・託児所などの設備。セツル。



益田紀志雄さん(左)と益田明美さん(右)



講演の様子

人生はしよっぱいに限る。 しよっぱくなけりや人生じやない！

庄司 翼 (広島YWCA・HEP(ヒロシマエンバワメントプロジェクト)部会)

4月29日(金)の午後2時30分より、広島主教会を会場にして、広島YWCA主催のアーサースクール2016が開催されました。アーサースクールは今年で3回目の開催となり、今回は主題テーマを「人生はしよっぱいに限る。しよっぱくなけりや人生じやない！」とし、山口県の向津具半島にて主に塩を生産されている井上雄然さんをお迎えし、アーサー・ビナードさんとの対談を行っていただきました。

前半は井上雄然さんのこれまでの自らの歩みを自身の口で語りましたが、その中で自己完結していた生活から、結婚生活のこと、海岸清掃のこと、農作業について学びにやってくる若者のことなど、様々なことを通して、周りとともに協力していく生活へと移っていったという話が印象に残っています。



アーサースクール 2016 会場の様子



井上雄然さん(左)とアーサー・ビナードさん

また、後半は、アーサーさんが井上雄然さんの話を受け、人が生きる上で当たり前前持っているものを改めて掘り直して、古来より人が当たり前前に生きるために生きていたもの、大切に育んできていた生活の術が、どのように権力構造によって解体されて、当たり前前を当たり前としなくなっていたかという道筋を話の中で整理してくれました。

今回の対談において二人が語っていたのは、人が営んで生きていた生活における一つ一つの「当たり前」が巨大な権力構造に飲み込まれてきたこと。権力構造によって定められた「当たり前」に依存する形で生活を余儀なくされている状態が「当たり前」とされていること。それに対して、人は自然とともに歩み、人もまた自然の一部であるということの再認識と、そこに人は立ち返ることができるといえる、今の現代社会の「当たり前」を考え直さなければいけないものだと感じました。当日は参加者45名となり、終了時刻を超えることとなりましたが、アーサーさんと井上さんの対談が非常に熱を帯びたものとなったこともあり、本来自ら若者の学びのためであり、肝心の若者がなかなか集まらなかったことだけが悔やまれました。

日時
2016年4月29日(金・祝)
14:30~16:30

場所
広島YWCA

現在も内容の一部を
Webでご視聴いただけます

今回のアーサースクールでは、若者へのアプローチの一つとして、中高生を中心に利用者が急増している配信サービス『ツイキャス』を利用し、対談の様子をライブ配信しました。ライブ中は最大で21名の視聴者数をカウントし、現在も録画が残っているため、今後の閲覧者増加も期待されます。スクールの終わりに、参加者から『今回の内容を再度見る機会があるか?』との問い合わせに答えることにもなり、今後も活用していきたいと考えています。

Ywcahirosimahep 広島YWCA☆ハップ☆
【PC版】<http://twitcasting.tv/ywcahirosimahep>

【アンケートに寄せられた声】

塩に対する考えが変わりました。とても良い話でした。

塩がテーマということで、どういう話が展開されるのかと思っていましたが、食糧問題に発展しとても興味深く聴かせていただきました。

最初から対話形式をとられてもよかったと思う。時間不足が残念でした。

アーサーさんの上手な日本語にビックリ！内容も目からうろこでした。TPPの本当の姿がやっと理解できました。井上さんの生き方も素晴らしい！継続して全国に発信して下さい。

食生活の考え方を根底から覆させられました。自然との共生の重要性を強く感じました。人と自然の好循環を再確認しなければと思いました。自然、他を生かすことが自分を生かすことにつながると思います。

あつという間に感じる興味深いお話が聞けよかったです。ネットでも視聴できるってよいですね。

もっと聞きたかったです!!とても興味深いお話を聞くことができました。これから色々調べようと思います。私は今、大学生だけどいろいろ考えることがたくさんだと思いました。アーサーさん、井上さんのお話を聞く機会があれば、ちがう話もきいてみたいと思いました。ありがとうございました。

2人の話で対談を機関紙に掲載して下さい。

ごあいさつ

中木 風子 (広島YWCA 会長・代表理事)



このたび会長・代表理事の役割をいただきました、中木風子(なかき ふうこ)です。前任の半井康恵会長(代表理事)をはじめ、長い年月にわたり繋がって来た広島YWCAで代表理事を務めさせていただくのは、身の引き締まる思いがいたします。

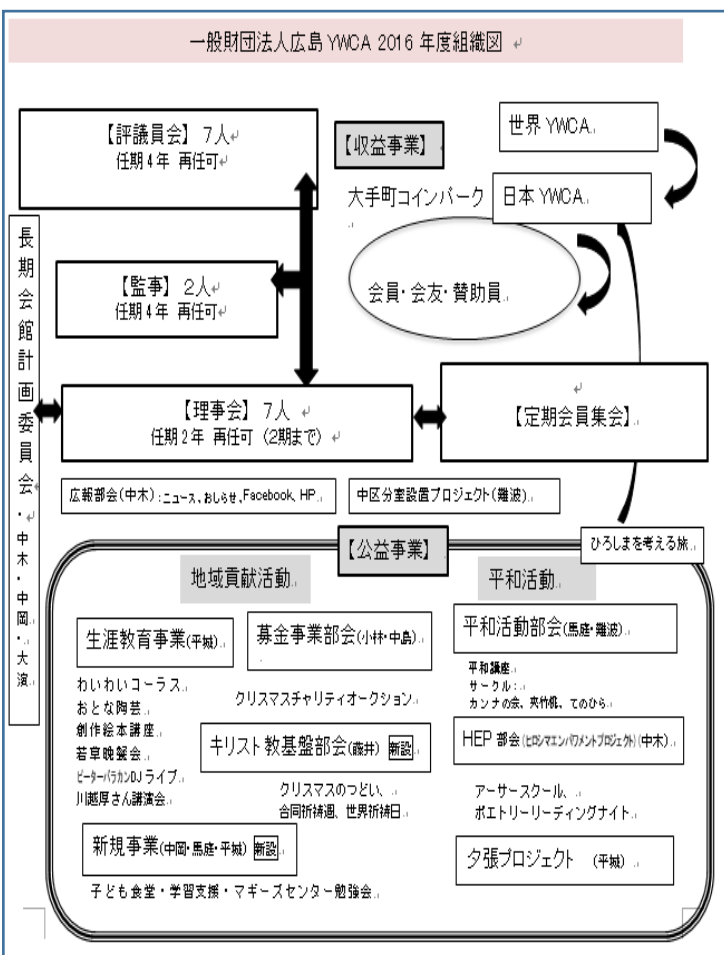
私はIT関連会社に勤めています。会社では、パソコンワークを中心にに行いながら、芸術学部出身の経験を活かして、福祉関連施設で、造形や美術、工作をレクチャーする活動も行っています。今年から、動画作成と簡単なアニメーションの制作にも挑戦しています。広島YWCAでは、地域貢献プログラム・おとな陶芸のクラスで、講師をしています。講師

と申しましても、参加される方それぞれが作りたい作品のアイデアを持って来られるので、それを形にするサポートをするのが一番の役割です。

皆さまは『イエスマン“YES”は人生のパスワード』というアメリカの映画をご覧になったことがあるでしょうか？ 私は主演のジム・キャリーが好きで、この映画と出会いました。内容は、プライベートでも仕事でも答えはいつも「NO」、後ろ向きだった男ジム・キャリー扮するアレンが、「イエス」といえば彼の人生がすべて変わると教える怪しげなセミナーをきっかけに、「意味のある人生を送るために、どんなことでも『YES』ということ」という無茶を実践していくものです。もちろん映画ですから、すべて順風満帆に進んで終わりではありません。実話を基にしたコメディ作品です。さて私も、広島YWCAの理事候補として推薦されたとき、心の中にはたくさんの思いが駆け巡りました。うれしさ、不安、仕事との両立、期待、恐縮、得意、プレッシャー。あれこれ思ってみて、心にストンと「YES」という思いが入ってきました。なんとかできそうだから、助けがあるから、だからきっと楽しみになる。そんな風に素直に思えた瞬間でもありました。イエスマンといえば自分にとって影響力のある人や権威のある人に対してご機嫌取りをする人という解釈もありますが、「YES」という言葉の肯定の気持ちを大事にしたいと思っています。それになんといっても、「YES」という言葉がいいですよ。

人間としても未熟な私です。自分自身をエンパワメントしながら、皆様のお役に立てるような存在になりたいと思っています。そして広島YWCAを牽引してこられたみなさまにお助けいただいて、次代へ繋ぐために努力してまいります。どうぞ よろしくお願いたします。

一般財団法人広島YWCA 2016年度組織図



2016年度 一般財団法人広島YWCA 法人役員名簿

2016年度 一般財団法人広島YWCA 法人役員名簿			
《評議員》			
1	評議員	石橋京子	
2	評議員	岡田和子	
3	評議員	新田和子	
4	評議員	難波郁江	平和活動部会
5	評議員	前田圭子	
6	評議員	長尾ひろみ	
7	評議員	仲子盛進	
《理事》			
1	代表理事	中木風子	会長 長期会館計画委員会(長) HEP部会(長)
2	理事	馬庭燕子	副会長 平和活動部会(長)、新規事業部会
3	理事	小林洋子	書記 基金事業部会
4	理事	中島 睦	基金事業部会(長)
5	理事	中岡志保	長期会館計画委員会、新規事業部会(長)
6	理事	藤井瑠璃子	キリスト教基盤部会(長)
7	常勤理事	平城智恵子	幹事 生涯教育事業、新規事業
《監事》			
1	監事	大濱(小松)香織	長期会館計画委員会
2	監事	半井康恵	

「キリスト教あいっえお」

足立こずえ

(広島YWCA会員・広島主城教会牧師)

第4回
『う』①

4回目の今回は「う」です。思い浮かぶのは「牛」と「馬」です。二部に分けてお話ししましょう。

今ではイスラエルは中東 * 和平の躰きの石になっているように思いますが、世界の平和が紛争地域の問題解決を地道に、しかも高い理念によってなされないとなかなか進まないのかもしれない。イスラエル、何もないかのように聖書の話を通じていくことがキリスト者としては複雑な思いがします。しかし、その根本を知ることが大切であると思えますので、聖書の世界を皆さんと一緒に学んでいきましょう。

さて、今回「う」の「牛」としました。牛は聖書の中ではさまざま「金の子牛」が浮かびます。後半に「金の子牛」についてお話しします。

まず、牛について。案外知っているようで、知らない。牛乳、牛肉は身近にあり私たちの生活を豊かにしてくれています。牛の博物館歴というのが奥州市にあり、挨拶文に次のようなことが書かれています。「ウシと人類とのであい」それは遙か8、000年前の昔、我々の祖先が野生のウシを捕らえ、家畜化したことに始まります。ウシは人類に食糧、労働、衣料、肥料それに娯楽など、かずかずの役立つものを与え、大きな富をもたらしました。『もしも人類がウシを家畜として伴侶に持たなかったなら、人類文化の発展は確実に500年以上遅れたであろう』とさえいわれています。

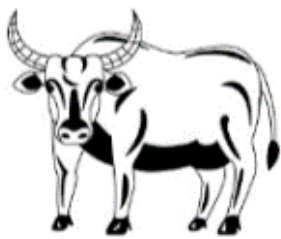
また、館長の挨拶文にも「ウシは(中略)古代農耕文明の成立に非常に大きな役割を果たしました。その後世界中に広がり、役・肉・乳・毛皮・糞尿などを提供して私たちの生活にとってかけがえのない存在となりました。一方、ウシは信仰・祭事・芸能・

娯楽・民具などの対象となり世界各地の文化を形成してきました」とあります。

私もまた、牛とは切っても切れない縁がありました。それは父が仕事でアフリカ水牛の角の加工をしていたからです。今でいう被差別部落産業です。近所では牛の皮が干してあるのを見たこともありません。匂いも想像してみてください。そういうのが私の日常でした。ある親戚の家に行ったとき、家の入口に牛を入れておくスペースがありました。農家です。日常で牛と生きているのは都会の我々にはなかなか想像できません。

次回、いよいよ聖書の世界に入っていきます。

注*..「中東」という言葉はE・W・サイードが訴えているように、西欧世界からみたものであり次のように言われてきた。ヨーロッパを中心に近東、中東、極東と分類する中の「中東」である。つまり歴史を通してヨーロッパとは異質なものの、劣ったものとみなすところから生まれてきたとサイードは批判する。最近ではこのサイードの見解も批判されてきているが、サイードの訴えてきた諸々のことは聞くべき内容がある。「言葉」はどこかに中心を置いたときには常に周辺が生まれてくるものである。



○おむつ作りグループ「てのひら」より「古布 提供のおねがい」

特別養護老人ホーム清鈴園に、古布をリサイクルした手縫いの用布をお届けする活動を30年以上続けています。

木綿の布、浴衣生地などございましたら、ぜひお持ちください。ほどいて、縫い、また生まれ変わらせる作業をしています。



《 感謝 》 2016年2月1日～2016年5月31日(敬称略)

(賛助費) 辛水仙、波藤紀江、小川和子、呉良恵、浅沼英子、永富彌古、小林洋子、岡本珠代、久留須悦子、佐藤成美、水田よし江、御手洗裕紀子、澤野正子、広瀬泰子、真砂則幸

(一般寄付) 浅沼英子、益田明美、尾尻知、水田よし江、大濱香織、世良雅子、てのひら、野のユリの会、手づくりカフェ

(平和活動) 藤井幸恵、下末かよ子、倉永恭子、谷口沢枝、豊永恵三郎、生協ひろしま労働組合、広瀬泰子、三刀屋信子、新迫康子、平木久恵、中澄江、森玲子、嶋津弘子、久保陸郎、浅沼英子、米田進、井上豊、島崎久、市原みゆき、河本憲宏、前田圭子、宮坂啓樹、澤野正子、吉光成美、山田百合子、長崎 YWCA

ご協力に心よりお礼申し上げます。



《理事会・定例会》

2月 第4回 定例会(日時:2016年2月8日(月)18:30~20:30 会場:広島YWCA 仮会館)

議題:第一号 報告事項(① 会計報告 ② 地域貢献事業 ③ 各部会 ④ 中区分室プロジェクト ⑥ 夕張プロジェクト実行委員会 ⑦ その他(仮会館契約更新について、役員選定作業状況について) 第二号協議事項 2016年度予算・計画 (スケジュール日程、部会事業計画)

議題に関し、報告、協議、決定を行った。

3月 第4回 臨時理事会(日時:2016年3月9日(水) 18:30~ 21:00 会場:広島YWCA 仮会館)

議題:第一号 報告事項(① 会計報告 ② 地域貢献事業 ③ 各部会 ④ 中区分室プロジェクト ⑥ 夕張プロジェクト実行委員会 ⑦ その他(仮会館契約更新について 第二号協議事項 2016年度役員について

議題に関し、報告、協議、決定を行った。

4月 第5回 臨時理事会・第1回定時理事会 合同 (日時:2016年4月23日(土) 18:30~21:00 会場:広島YWCA 仮会館)

議題:第一号報告事項 ① 会員集案内発送 ② 各部会・地域貢献事業 第二号協議事項 代表理事の選任 第三号協議事項 2015決算・2016予算承認

議題に関し、報告、協議、決定を行った。